

## ◆ 今週のコメント

- 新型コロナウイルス感染症の報告が31例(男性18例, 10歳代2例, 20歳代3例, 30歳代3例, 40歳代2例, 50歳代2例, 60歳代4例, 70歳代1例, 80歳代1例), 女性9例(10歳代3例, 20歳代1例, 40歳代3例, 60歳代2例), 小学生4例(年齢性別非公開))あり, 累積報告数は1,181例となりました。本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。

○新型コロナウイルス感染症 最新の動向

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>

○京都市衛生環境研究所にゆうす 令和2年度 第1号(通巻139号)(特集! 新型コロナウイルス感染症!)

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000175/175313/news2020-01.pdf>

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が2例(20歳代女性1例(第34週追加報告分), 40歳代女性1例)ありました。感染地域はともに国内です。本年の累積報告数は13例となりました。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が2例(70歳代男性1例(第36週追加報告分), 20歳代男性1例)あり, とともに感染地域は国内, 感染経路は以前からの保菌です。本年の累積報告数は20例となりました。
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症の報告が1例(70歳代男性)あり, 症状は腎不全, DIC, 全身性紅斑性発疹です。感染地域は国内で, 感染経路は創傷感染です。本年の累積報告数は8例となりました。

## ◆ 今週のトピックス:<結核>

毎年9月24日～30日は結核予防週間です。京都市では, 結核予防に関する普及活動に日々取り組んでいるところであり, 結核予防週間にあたり, 2019年の結核の状況についてまとめました。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- 二類:結核 1例(肺結核 なし, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 なし  
【1月以降の累積報告数 175例(肺結核 80例, その他結核 34例, 潜在性結核感染者 61例)うち喀痰塗抹陽性 36例】
- 指定感染症:新型コロナウイルス感染症 31例【1月以降の累積報告数 1,181例】
- 三類:腸管出血性大腸菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 13例】
- 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 20例】
- 五類:劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 8例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	1.51	65
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.60	26
	③ 突発性発しん	0.30	13
	④ 咽頭結膜熱	0.26	11
	⑤ ヘルパンギーナ	0.21	9
眼科	流行性角結膜炎	0.00	0

## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス:<結核>

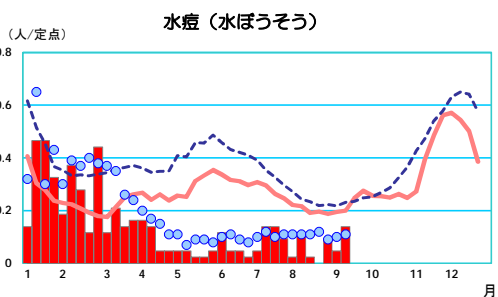
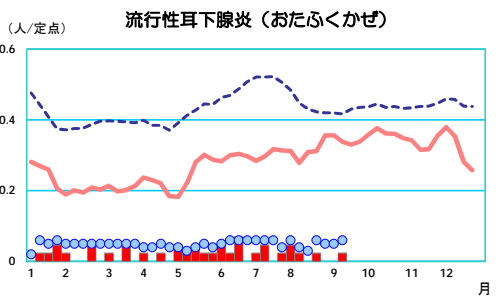
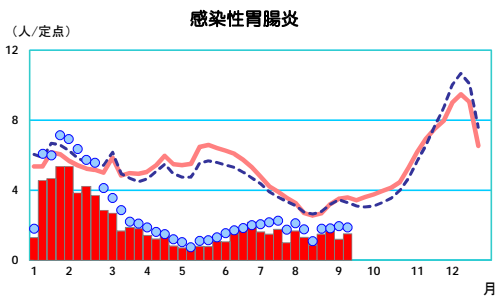
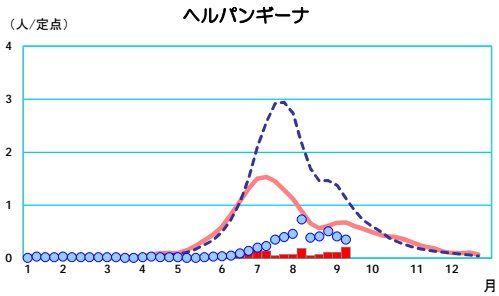
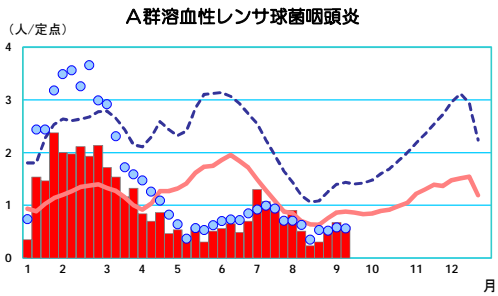
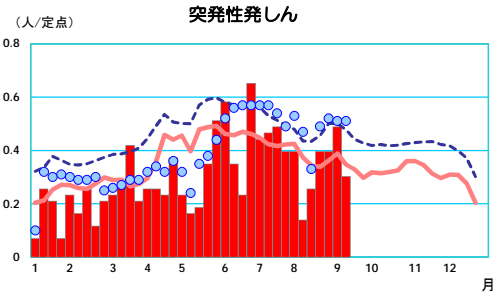
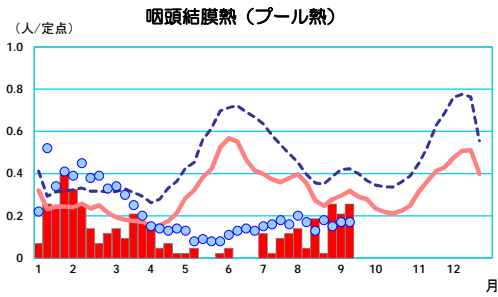
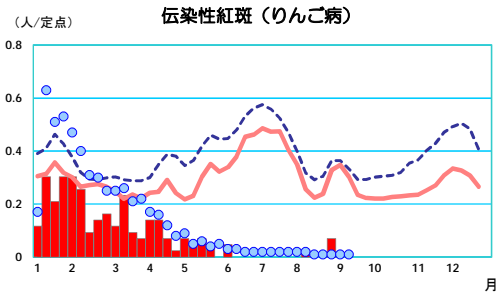
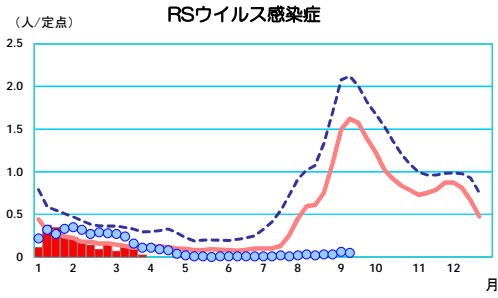
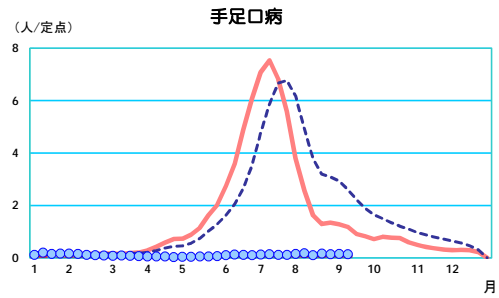
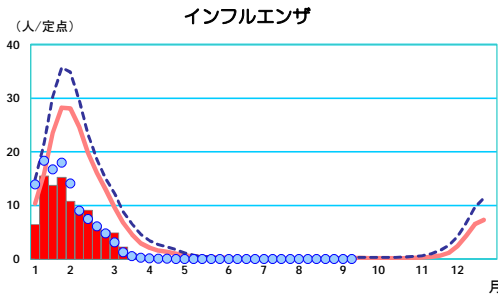
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数 / 結核の月まとめ)

(注)京都市のデータは, 2020年9月16日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。

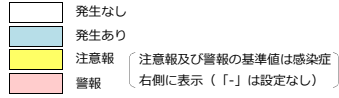
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

\* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

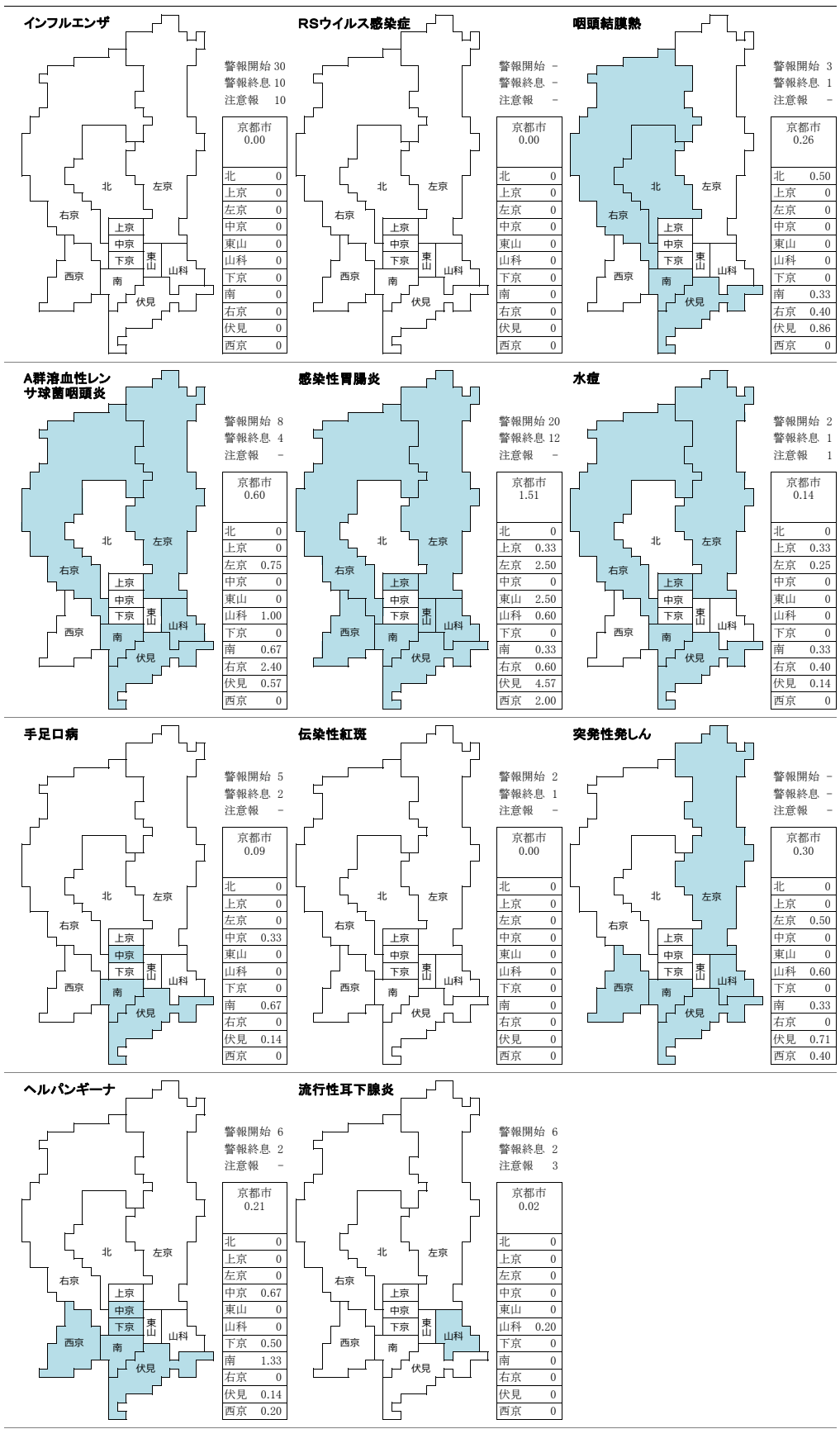
インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2020年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2020年 第37週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。  
したがって、定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や「規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



## 第37週(9月7日～9月13日)トピックス: &lt;結核&gt;

毎年9月24日～30日は結核予防週間です。京都市では、結核予防に関する普及活動に日々取り組んでいるところであり、結核予防週間にあたり、2019年の結核の状況についてまとめました。

本市の過去10年間の結核新登録患者は、多少の増減はあるものの、おおむね減少傾向にあります。2019年は221人で、2018年(227人)と比べ6人減少しました。罹患率(人口10万対)は15.1で、2018年の15.5から0.4ポイント減少しましたが、依然として全国の11.5と比較して高い値を示しています。また、肺結核喀痰塗抹陽性罹患率も5.8と、前年の6.2から減少したものの、全国の4.1と比較すると高い値となっています(表1及び図1)。

京都市では2018年に第三次京都市結核対策基本指針を策定し、2022年までに罹患率12.0以下(2013年策定第二次基本方針では15.0以下)、肺結核喀痰塗抹陽性罹患率4.5以下(同6.5以下)に減少させることを目標としています(図1)。達成に向けて、普及啓発(結核検診の受診及び早期受診勧奨)など、更なる罹患率低下に取り組んでいます。

京都市の新登録患者数を年齢階級別にみると、60歳以上がおよそ4分の3で、特に80歳以上が全体の4割を超えており、比較的高い年齢層が大きな割合を占めています(図2)。また、症状のある肺結核患者の発病から初診までの期間をみると、「受診の遅れ」とされる2箇月以上が約4割で(図3)、とりわけ高齢者では検診あるいは早期受診が重要と考えられます。

結核は、患者の咳やくしゃみに含まれる結核菌を他の人が吸い込むことで感染します。このため、発見や診断が遅れると、家族や身近な人へ感染させてしまうかもしれません。症状がなくても年1回は検診を受けるほか、2週間以上咳や痰(たん)、微熱が続くようなら早めに受診しましょう。

京都市では、市内在住15歳以上の方を対象に、年間を通じて月に2回程度、区役所・支所で結核検診を無料で実施しています(新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、一時中止していましたが、7月1日から再開されました)。また、65歳以上の方は、年1回の結核検診の受診が感染症法により義務付けられています。早期発見のため、必ず検査を受けましょう。

○京都市情報館ホームページ「結核検診について」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000121872.html>

表1 京都市及び全国の結核新登録患者数

区分	2018年	2019年	全国(2019年)*
新登録患者数(人)	227	221	14,460
罹患率(人口10万対)	15.5	15.1	11.5
肺結核喀痰塗抹陽性患者数(人)	91	85	5,231
新登録患者に占める割合(%)	40.1	38.5	36.2
罹患率(人口10万対)	6.2	5.8	4.1

\*全国の数値は2020年7月14日現在の厚生労働省年報集計結果による

図1 過去10年間の結核罹患率と肺結核喀痰塗抹陽性罹患率の推移

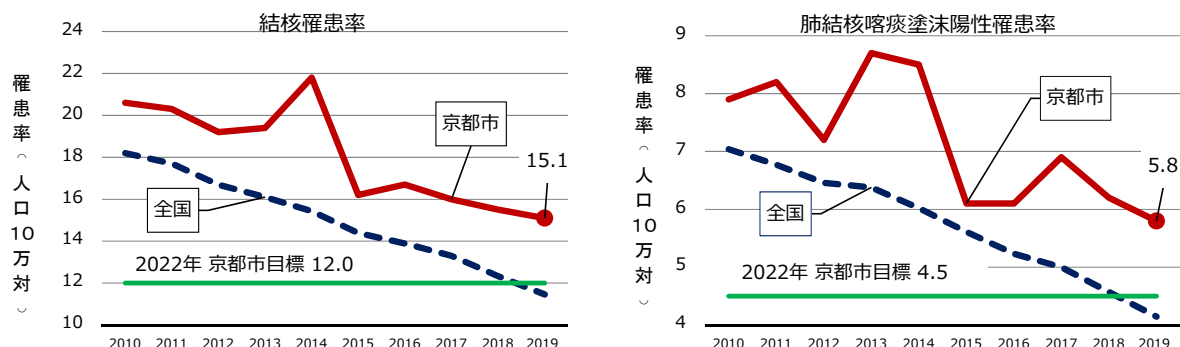


図2 結核新登録患者の年齢階級別割合(京都市 2019年)

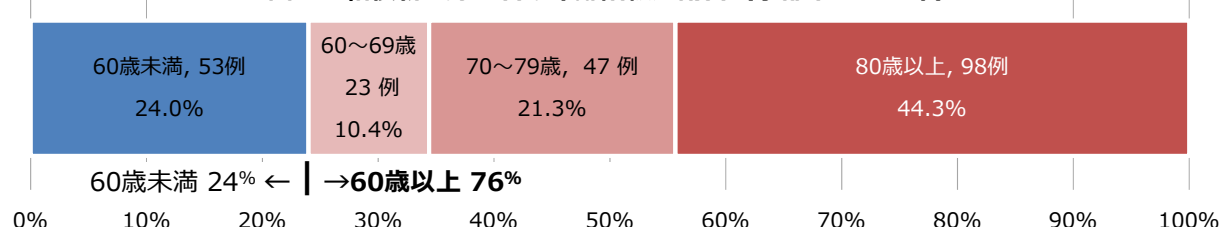
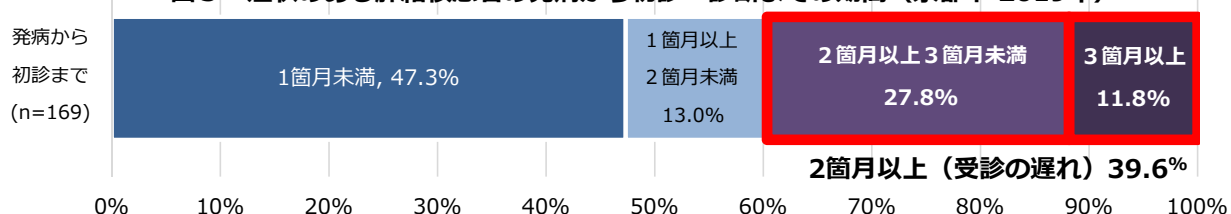


図3 症状のある肺結核患者の発病から初診・診断までの期間(京都市 2019年)



T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第37週

疾病,行政区別報告数

2020年9月7日～2020年9月13日

データ入手日:2020年9月16日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	3	10	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	5	3	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	1	2	1	1	2	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	2	12	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	6	4	32	1	1	-	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	-	10	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	11	26	65	6	4	-	13	9	1	-	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	0.75	2.50	0.25	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	-	-	0.33	-	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	2.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	1.00	0.60	-	-	-	0.60	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	0.33	0.67	0.33	0.33	0.67	-	0.33	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	0.40	2.40	0.60	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	0.86	0.57	4.57	0.14	0.14	-	0.71	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	-	2.00	-	-	-	0.40	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	0.26	0.60	1.51	0.14	0.09	-	0.30	0.21	0.02	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

# 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第37週

年齢階級, 疾病別報告数

2020年9月7日～2020年9月13日

データ入手日:2020年9月16日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		11	-	1	7	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		26	-	-	2	3	5	4	2	5	-	1	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		65	-	5	12	5	3	6	3	-	5	3	1	11	3	8	-	-	-	-	-	-
水痘		6	-	-	-	-	2	-	1	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
手足口病		4	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		13	-	2	8	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		9	-	1	4	1	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.26	-	0.02	0.16	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.60	-	-	0.05	0.07	0.12	0.09	0.05	0.12	-	0.02	-	0.02	-	0.07	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		1.51	-	0.12	0.28	0.12	0.07	0.14	0.07	-	0.12	0.07	0.02	0.26	0.07	0.19	-	-	-	-	-	-
水痘		0.14	-	-	-	-	0.05	-	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.09	-	-	0.05	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.30	-	0.05	0.19	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.21	-	0.02	0.09	0.02	-	0.05	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.02	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第37週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2020年9月16日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	2	8	1	11	9	11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22	10	13	24	29	26
感染性胃腸炎	56	37	64	71	51	65
水痘	5	1	-	4	2	6
手足口病	3	2	7	4	4	4
伝染性紅斑	1	-	-	3	-	-
突発性発しん	6	11	17	17	21	13
ヘルパンギーナ	8	2	3	5	5	9
流行性耳下腺炎	1	-	1	-	-	1
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	1	-	3	5	-
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	106	72	106	142	126	135

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	0.05	0.19	0.02	0.26	0.21	0.26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.51	0.23	0.30	0.56	0.67	0.60
感染性胃腸炎	1.30	0.86	1.49	1.65	1.19	1.51
水痘	0.12	0.02	-	0.09	0.05	0.14
手足口病	0.07	0.05	0.16	0.09	0.09	0.09
伝染性紅斑	0.02	-	-	0.07	-	-
突発性発しん	0.14	0.26	0.40	0.40	0.49	0.30
ヘルパンギーナ	0.19	0.05	0.07	0.12	0.12	0.21
流行性耳下腺炎	0.02	-	0.02	-	-	0.02
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.20	0.10	-	0.30	0.50	-
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	2.62	1.75	2.47	3.53	3.31	3.14

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。